研究実施のお知らせ

2026 年 5 月 15 日 ver.1.0

研究課題名

UF-5000 における BACT-Info.の単施設後ろ向き検討
―尿培養結果との比較に基づく自施設最適カットオフおよび報告条件の検討―

研究の対象となる方

全自動尿中有形成分分析装置 UF-5000 の使用を開始した 2024 年 12 月 11 日から 2026 年 4 月 30 日までの間に、島根大学医学部附属病院にて診療を受けられた患者さんのうち、同一受診機会にて尿中有形成分分析と尿培養の検査を実施されている方。

研究の目的・意義

本研究は、UF-5000 による細菌の情報（BACT-Info.）と尿培養結果との関連を後ろ向きに検討し、特にグラム陰性菌疑いの判定がグラム陰性菌尿路感染症をどの程度迅速に示唆し得るかを明らかにします。これにより、臨床側への迅速な原因菌の情報提供に役立つ可能性があります。さらに、将来的には尿路感染症が疑われる患者さんに対して、より適切で迅速な検査情報の提供につながり、診療の質の向上に貢献することが期待されます。

研究の方法

本研究は、単機関後方視的観察研究（既存の診療情報および既に日常検査として得られている検査結果のみを用いる研究）として実施します。

本研究では、診療録から以下の既存情報を抽出します。

1. 一般情報（年齢、性別、外来・救急外来・入院の別、診療科、採尿法（取得可能な場合）、抗菌薬投与の有無または採取前投与歴（取得可能な場合）
2. UF-5000 関連項目（BACT 数、WBC 数、RBC 数、上皮細胞関連項目、BACT-Info. 判定(Gram Neg?、Gram Pos?、Gram Pos/Neg?、Unclassified / No flag)）

研究の期間

2026 年 10 月 20 日～2029 年 3 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、「島根医学検査」等への投稿、日臨技中四国支部医学検査学会等の学術集会での発表を予定しています。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）
島根大学医学部附属病院検査部　　石飛　文規

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、島根大学医学部附属病院検査部へ 2026 年 12 月までにお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料（検体）・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：
島根大学医学部附属病院検査部　石飛文規
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話　0853-20-2416